

北海道支部 ニュース 第 32 号

日本分析化学会 北海道支部 2005 年 12 月

2005 年度北海道分析化学各賞の受賞者決まる

支部会員より推薦のありました 2005 年度北海道分析化学各賞の候補者について、推薦書、履歴書、業績等に基づき厳正な選考の結果、下記の通り受賞者が決定いたしましたのでお知らせいたします。受賞者の皆様には心よりお祝い申し上げますとともに、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。尚、授賞式は、2006 年冬季研究発表会の会場で 2 月 1 日（水）に行われます。また、受賞講演は 1 月 31 日（分析化学賞）と 2 月 1 日（奨励賞）の両日、同会場にて行われます。会員の皆様には是非、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

北海道分析化学賞

伊藤慎二氏（北海道薬科大学薬学部）
「硫酸抱合型ステロイドに関する研究」

北海道分析化学奨励賞

前花浩志氏（北海道大学大学院工学研究科）
「微生物を用いるオンチップバイオアッセイの
開発と変異原性試験への応用」

北海道分析化学功労賞

鎌滝哲也氏（北海道大学大学院薬学研究科）
佐々木陽一氏（北海道大学大学院理学研究科）
松久喜一氏（旭川工業高等専門学校）

***** 平成17年度事業案内 *****

第41回氷雪セミナーのお知らせ

主催： 日本分析化学会北海道支部

期日： 2006年1月7日（土）・8日（日）

会場： 溪流荘（札幌市職員共済組合定山溪保養所）〔札幌市南区定山溪温泉西2-5、電話：011-598-2721、交通：JR札幌駅前バスターミナルからじょうてつバス「定山溪温泉」行き乗車「定山溪大橋」下車徒歩4分〕

プログラム

第一日（7日、13：30～17：00）

1. 水素エネルギー社会にむけての触媒技術とその未来

（北海道大学触媒化学研究センター）市川 勝

2. 地球環境の行く末と科学者の役割

（北海道大学地球環境科学研究院）池田元美

第二日（8日、9：00～12：00）

3. 単分子膜技術を活用したバイオセンサー

（産総研）水谷文雄

4. 黄金の国ジパング - 火山と温泉が生み出す金鉱床 -

（北海道大学総合博物館）松枝大治

参加費：会員11,000円、会員外12,000円（宿泊・懇親会費を含む。当日受付にて申し受けます。）

参加申込締切：12月20日（火）

申込方法：氏名・勤務先・所属・連絡先（所在地、郵便番号、電話・FAX、E-mail）を明記の上、E-mail、FAXまたは郵送にて、下記宛にお申し込み下さい。

申込先：〒001-0021 札幌市北区北21条西10丁目

北海道大学触媒化学研究センター

大澤雅俊

電話：011-706-9123

FAX：011-706-9124

E-mail: osawam@cat.hokudai.ac.jp

北海道支部2006年冬季研究発表会のお知らせ

共催：日本分析化学会、日本化学会、日本エネルギー学会各北海道支部、触媒学会北海道地区

会期：1月31日（火），2月1日（水）

会場：北海道大学学術交流会館（札幌市北区北8条西5丁目）

発表申込締切 11月 4日（金）〔必着〕

予稿原稿締切 12月 9日（金）〔必着〕

参加登録予約申込締切 12月16日（金）

■発表形式

口頭発表（質疑応答を含め15分を予定）はOHPのみ。

ポスター発表の詳細は申込者に後日連絡。

■参加登録費

会 員：一般2,000円，学生1,000円。

非会員：一般3,000円，学生1,200円。

いずれも講演要旨集代を含む。

■懇 親 会

1月31日（火）18時より北海道大学百年記念会館にて開催予定。

予約受付（12月16日までに払込分）：一般5,000円，学生2,000円。

当日受付：一般6,000円，学生3,000円。

■参加登録予約申込方法

(1)氏名，(2)所属，(3)連絡先，(4)懇親会出席の有無を明記してお申し込み下さい。

参加登録費，懇親会費は郵便振替（2006年冬季研究発表会，口座番号：02780-1-41422）または書留にて送金下さい。

■連 絡 先

060-8628 札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学

大学院工学研究科エネルギー環境システム専攻原子力環境材料研究室内

北海道支部2006年冬季研究発表会実行委員会

佐藤正知

電話：011-706-6686 FAX：011-706-7139

E-mail：sato@qe.eng.hokudai.ac.jp

***** おしらせ *****

● 「水の分析 第5版」日本分析化学会北海道支部編が出版される

水質基準などの追加・改定、水の分析に関する公定法の改訂、分析方法の進歩および機器分析法の一般化などに伴い、10年ぶりに全面大改訂を行った最新版が（株）化学同人から出版されました。

【主要目次】

1. 水の起源と循環(水の起源/水の分布と循環/水の物理的および化学的性質)
2. 水に求められる性質(生命と水/人間生活と水の利用/産業と水/他)
3. 水の分析の基盤となる基礎的技術(水の精製と器具の洗浄/試料の前処理と保存/他)
4. 水の分析に適用される方法(重量分析法/ICP/FIA/イムノアッセイ/他)
5. 水の一般的性状(温度と外観/濁度・透視度・透明度/臭気と味/他)
6. 金属成分(カルシウムとマグネシウムおよび硬度/クロム/ヒ素/他)
7. 非金属成分(塩化物イオン/ケイ酸/硫化物イオン/他)
8. 有機汚濁指標物質(DO/COD/BOD/TOC/他)
9. 富栄養化関連物質(アンモニア性窒素/有機窒素/クロロフィル a /他)
10. 有機物(農薬/フェノール類/PCB/界面活性剤/他)
11. 微生物(一般細菌/大腸菌/レジオネラ属菌/他)
12. 水質調査の事例(温泉の分析/酸性雨の分析/深層水の分析/他)

支部取り扱いの場合、定価(6,090円)の3割引(4,400円+郵送料)で販売しております。大いにご利用下さい。

お問合せ先：日本分析化学会北海道支部事務局
〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
北海道大学大学院理学研究科化学専攻分析化学研究室内
E-Mail: jsac-hb@sci.hokudai.ac.jp



- 会員拡充キャンペーン「10,000名の生き生き学会に育てよう！」

期間： 平成17年11月～平成18年7月 （9ヶ月間）

(社)日本分析化学会は、会員1万人体制を目指し、『10,000名の生き生き学会に育てよう！』と題して会員拡充キャンペーンを行っております。

2005年11月から2006年7月までに正会員に入会のお申し込みをされた方は、初年度の入会金（1,000円）が無料になります（年会費は必要）。是非この機会をご活用下さい。

入会申込書はホームページよりダウンロードすることができます。

詳細は、http://www.soc.nii.ac.jp/jsac/kakujuu/exp_main.htmlをご参照ください。



第21回分析化学緑陰セミナー・小樽集合写真（2005年6月18-19日）

***** これまでの終了事業報告 *****

外国人等講演会事業報告

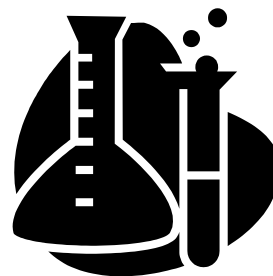
8月8日(月)高橋英明幹事のお世話により、北海道大学工学部材料化学棟5階大会議室において「新規コンデンサー開発に関する日韓ミニシンポジウム」が開催された。講演は杉本 渉氏(信州大学繊維学部)による「Structural Design of Ruthenium Oxide-Based Super-Capacitors」、Prof. Y-S. Tak (Inha Univ., Korea) による「Electrochemical Fabrication of Aluminum Electrode for Capacitors」、幅崎浩樹氏(北海道大学大学院工学研究科)による「Formation and Dielectric Properties of Amorphous Anodic Titania Stabilized with Foreign Species」、Prof. S-G. Park (Chugbuk National Univ.)による「Electrochemical Characteristics of Activated Carbon-TiO₂ Composites Electrode for Supercapacitor」、高橋英明氏(北海道大学大学院工学研究科)による「Electrophoretic Sol-Gel Deposition and Anodizing for The Formation of Al-Si Composite Oxide Films」の5題であった。

2005年度日本分析化学会北海道支部公開セミナー事業報告

10月5日(水)日本分析化学会北海道支部公開セミナーが、伊藤八十男幹事のお世話で(独)科学技術振興機構研究成果活用プラザ北海道(札幌市北区北19条西11丁目)において開催された。小林 智氏(北海道立衛生研究所)による「室内空気汚染とシックハウス症候群」、渡辺義公氏(北海道大学大学院工学研究科)による「21世紀の水と廃棄物問題の解決を目指して - 流域圏と資源化がキーワード - 」の2件の講演が行われた。尚、参加者は45名であった。

2005年度北海道地区化学教育研究協議会報告

11月12日(土)日本化学会・日本分析化学会 各北海道支部、日本化学会北海道支部化学教育協議会の共催により、北海道大学大学院地球環境科学研究院において開催された。特別講演として、伊藤 卓先生(横浜国立大学 名誉教授)による「初等中等理科教育のいま - 急がれる軌道修正 - 」が行われた。続いて、小・中・高・大学での研究実践と課題に関する4件の一般発表と自由討論が行われた。



支部会員の欄

この欄では、分析化学会の北海道支部の転出や転入・新入会など、会員に関する情報をお伝えします。新たに以下の方々の入会が認められました（ぶんせき2005年8月～12月号から）。これらに関する情報をお持ちの方は、支部ニュース編集委員までお知らせください。

中川書子（北海道大学大学院理学研究科）
中田 耕（北海道大学大学院地球環境科学研究科）
伊藤亮孝（北海道大学大学院理学研究科）
鈴木良治（北見工業大学工学部）
大西あきら（（株）セロテック）
高野 暢（（株）札幌臨床検査センター）
金野久美子（北海道大学理学部）
塩崎梨絵子（北海道大学大学院水産科学研究科）
曽根弘昭（北海道大学大学院環境科学院）
夏目大道（北海道大学大学院工学研究科）

（順不同）

編集後記

大変遅くなりましたが、北海道支部ニュース32号をお届けします。今年も残り少なくなりましたが、会員の皆様方におかれましては、どうか体に気をつけて御過ごし下さい。

来年度の支部ニュース編集委員は、石坂昌司（北大院理）と西村一彦（北海道立衛生研究所）に代わり、工藤 勲氏（北大院水産）と千葉真弘氏（北海道立衛生研究所）が加わる予定です。今後とも支部ニュース編集へのご支援ならびにご協力を宜しくお願い申し上げます。また、北海道支部のホームページには最新情報、支部ニュースのバックナンバーが掲載されていますので、ご活用下さい。

（編集委員：石坂昌司、西村一彦、田原るり子、照井教文）